

平成２４年度障害者虐待防止・権利擁護研修の実施状況

1 共通研修

- (1) 日時 ①平成２４年９月１４日（金）、②９月１９日（水）、③９月２１日（金）
いずれも、９時４５分～１６時３０分
- (2) 場所 ① 船橋市勤労市民センター、②③ 千葉市文化センター
- (3) 対象者 市町村、施設、相談支援事業所、居宅介護事業所等の職員
- (4) 目的
障害者虐待の実態と課題、障害者虐待防止法の理念・内容・留意事項、虐待への対応、虐待防止に関するネットワークづくりなどについての基本的理解の促進を図る。
- (5) カリキュラム
- ① 講演「障害者虐待の実態と課題」（野澤和弘氏）
 - ② 講演「障害者虐待防止法とその留意事項」（佐藤彰一氏、蒲田孝代氏、佐久間水月氏）
 - ③ 講演「障害者虐待の背景・要因と対応」（白井正和氏、早坂裕実子氏）
 - ④ 講演「障害者虐待防止のためのネットワークづくり」（朝比奈ミカ氏、小倉亜津子氏）
- (6) 参加者数

	９月１４日	９月１９日	９月２１日	合計
施設等管理者・従事者	１７６	１９８	１８４	５５８
相談支援事業所等職員	３７	５９	５０	１４６
居宅介護事業所等職員	２６	２０	１４	６０
市町村等職員	１６	４１	３６	９３
広域専門指導員等	３６	３８	３２	１０６
合計	２９１	３５６	３１６	９６３

2 個別研修（市町村職員向け）

- (1) 日時 〈１日目〉平成２４年９月２５日（火）１０時００分～１７時００分
〈２日目〉平成２４年９月２８日（金）１０時００分～１６時００分
- (2) 場所 千葉県庁会議室
- (3) 対象者 市町村及び市町村虐待防止センターの職員
- (4) 目的
障害者虐待に関する通報・届出を受けた場合の対応（事実確認、緊急性の判断、権限の行使等）や、通常時における障害者虐待防止のための取り組み等に関する知識や技術を習得する。
- (5) カリキュラム
- ① 講演・演習 「初動期の対応等について」（滑川里美氏）
 - ② 講演・演習 「個別の支援計画等について」（小川裕二氏）
 - ③ 講演・演習 「支援・対応の評価と終結について」（西沢将行氏）
 - ④ 講演 「障害者虐待防止のための市町村職員の役割、取り組み（１）」（宮間恵美子氏）
 - ⑤ 講演 「障害者虐待防止のための市町村職員の役割、取り組み（２）」（山口幸恵氏）
- (6) 参加者数

	９月２５日〈１日目〉	９月２８日〈２日目〉
市町村等職員	１００	９８

3 個別研修（施設・事業所等向け）

	施設等管理者・従事者研修	相談支援事業所等研修	居宅介護事業所等研修
委託先	NPO法人Panda-J	社団法人千葉県社会福祉士会	NPO法人Panda-J
日時 場所	①平成25年1月7日（月） 10時00分～16時30分 船橋市役所大会議室 ②平成25年1月10日（木） 10時00分～17時00分 ③平成25年1月16日（水） 10時00分～17時00分 ④平成25年1月31日（木） 10時00分～17時00分 千葉県青少年女性会館	①平成24年11月29日（木） 10時00分～16時30分 千葉県庁会議室 ②平成24年12月13日（木） 10時00分～16時30分 千葉県教育会館	①平成24年11月26日（月） 10時00分～16時30分 千葉県庁会議室
対象者	施設入所支援、グループホーム、ケアホーム、生活介護、自立訓練（機能訓練・生活訓練）、療養介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）の事業を運営する法人の管理者及び従事者 ※児童発達支援、放課後障害児デイサービス等の障害児通所支援を実施する法人、生活ホーム設置者を含む	相談支援事業所、中核地域支援センター、障害者就業・生活支援センター、発達障害者支援センター、社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）の職員	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護の事業を実施する法人（訪問介護を実施する法人は除く。）の職員、精神訪問看護を実施している訪問看護ステーションの職員
研修の目的	施設等の管理者や従事者の権利擁護の知識や支援スキルの向上を図る。特に、職場全体の虐待予防のためのマネジメント、自傷や他害など難しい行動障害のある障害者に対する身体拘束の予防に関する知識の獲得とスキルアップを目指す。	障害者虐待発見時における相談支援事業所等の役割と対応、虐待を防止するための取組等に関する知識や技術を習得する。	居宅介護は障害者の地域生活にとって重要なサービスである一方、利用者と一対一となるため、虐待のリスクが高いことも事実である。そこで、パニックなど行動障害にどのように対処するか、コミュニケーションの難しい障害者の意思決定のあり方などを学ぶ。
カリキュラム	オリエンテーションと虐待防止法の説明（30分） 講師 野沢和弘（毎日新聞論説委員、Panda-J副代表）	講演「障害者虐待防止法における相談支援事業所の役割」（1時間） 講師 西沢将行（千葉県社会福祉士会）	オリエンテーション（15分） 総司会 堀江まゆみ（白梅学園大教授、Panda-J代表）
	講演（1時間30分） ①「パニック・行動障害にどう対応するか」 講師 井上雅彦（鳥取大教授、臨床心理学） ②「ここが知りたい！障害者虐待防止法Q&A」 パネリスト 野澤和弘、熊岡耕一、澁澤茂 ③「施設の権利擁護と職員育成」 講師 松上利男（(社)北摂杉の子会常務理事） ④「施設の権利擁護と職員育成」 講師 樋口幸雄（(社)京都ライフサポート協会「庵」理事長）	講演「弁護士に相談してみよう～事例を通して考える～」（50分） 講師 佐久間水月（千葉県弁護士会）	講演「虐待防止法が目指しているもの」（45分） 講師 野沢和弘（毎日新聞社論説委員、Panda-J副代表）
	講演（①1時間、②～④1時間30分） ①「施設の危機管理とガバナンス」 講師 古川彰彦（(社)つばさ福祉会「父の夢」施設長） ②「『問題行動』への対応～悪循環の構図から抜け出すために～」 講師 中山清司（自閉症e-サービス代表、臨床心理士） ③「パニック・行動障害にどう対応するか」 講師 井上雅彦（鳥取大教授、臨床心理学） ④「パニック・行動障害への対処法」 講師 榎屋二郎（関東医療少年院、精神科医）	グループワーク「これって虐待？」（3時間30分） 講師 白井正和（千葉県社会福祉士会）	講演「居宅介護と虐待リスク」（1時間） 講師 片桐公彦（(社)りとるらいふ理事長）
	グループワーク（1時間50分） 「グループホーム等・入所施設での虐待防止」「職場のガバナンス」 「パニックや自傷・他害への対応」「新人研修の方法」		講演「行動障害とは何か」（1時間） 講師 榎屋二郎（精神科医、関東医療少年院）
	まとめ（30分） 野沢和弘（毎日新聞論説委員、Panda-J副代表）	閉会挨拶（5分） 千葉県社会福祉士会	グループワーク（1時間45分） 「パニック・行動障害と身体拘束」「人材育成や新人研修の行い方」 「精神障害のある方への居宅介護」「行動援護・移動支援（外出支援）」
参加者数	計582名（①124名、②111名、③176名、④171名）	計171名（①73名、②98名）	43名